第３回久留米市田主丸ふるさと会館指定管理者候補者選定委員会会議録

○日　　時：平成３０年１０月４日（木）　１３時３０分～１５時１５分
○場　　所：久留米市庁舎３階　３０７会議室
○出席委員：松永恵美子委員、鯉谷彰委員、豊島茂委員、竹村美穂委員、木下昇委員
　　（全員出席）

１　開会

２　議事

（１）二次審査の審査方法等の確認

【事務局】
審査方法等について説明

【委　員】
質問が複数件ある場合はまとめて尋ねた方が良いか。

【事務局】
内容や状況によるが、そうしていただいた方がスムーズと思われる。

（２）二次審査（プレゼンテーション及び面接審査）

※以下、一問一答の記載としている。

【団　体】
提出書類の内容について説明

【委　員】
田主丸ふるさと会館(以下「会館」)を観光振興の拠点とする旨の提案内容であるが、駅併設施設であるという特色を活かして、ＪＲと連携した事業を行う考えはあるか。

【団　体】
現在も、会館を基点としたＪＲ九州ウォーキングの開催をＪＲと連携して行っている。また、以前はフルーツ狩り列車等の企画も実施していた。こういった、地域の魅力を活かした観光商品の企画を今後も連携してすすめていきたい。

【委　員】
駅を観光振興の基点とするうえでは二次交通のあり方が重要であるが、バスや観光タクシー、レンタサイクル等と連動させ交通結節点として施設の特色を活かしていく考えはあるか。

【団　体】
会館ではレンタサイクル事業を実施しているほか、週末には山苞の道まで路線バスが運行されるようになっている。今後はこれらに加え、ニーズをふまえながら企画等を進めていきたい。

【委　員】
リニューアルによる機能向上をふまえ、これまでの管理運営にどういった展開を加えていく考えか。

【団　体】
今年４月の条例改正で施設の設置目的が大きく変わっており、それまでは観光の拠点としての活用は指定管理業務上位置づけられておらず、別途田主丸事務所として会館を活用してきた。このため、今回の提案の中では、施設の管理以外は観光案内業務を除いて新規のものである。
【委　員】
市場環境が刻々と変化する中、インバウンドへの取り組みをどう考えているか。
【団　体】
指差しマップの作成等で多言語対応を行いたい。また、個人旅行で目的施設だけに行っている外国人旅行者を会館に誘導し、地域の周遊を提案できるよう、Ｗｅｂ等を活用した情報発信を強化したい。
【委　員】
ＤＭＯへの委託業務が多いが、ＤＭＯがこれらを実施できなかった場合は業務をどう進めるか。
【団　体】
今回の指定管理業務に係る仕様書はＤＭＯとの連携を前提とされており、これに応じて提案しているが、万が一ＤＭＯが業務を行えなくなった場合には、改めて市と協議させていただきたい。
【委　員】
地域団体や事業者との協働をこれまでどう進めてきたか。また、今後どう展開させていくか。
【団　体】
これまで、田主丸事務所において、イベント実施や団体運営に対する支援を行い、地域との連携を図ってきた。今後は、ＤＭＯと関わる中での事業者との連携や、ワークショップやコンサート、展覧会の実施にあたっては、校区コミュニティ組織や地域の文化協会、近隣施設での活動団体等と連携して進めていきたい。
【委　員】
様々な団体や事業者との連携は素晴らしいことと思う。魅力ある地域資源を一層活用するために、これらを線でつなぐ考えはあるか。
【団　体】
各事業者を線、面でつなぐのがＤＭＯの役割であると考える。ＤＭＯとの連携の中で、企画会議等を開きながら、地域の魅力を洗い出し、磨き上げることを考えている。
【委　員】
施設利用者数の目標はどのように算出しているか。
【団　体】
貸室の利用者やカフェ来店者、イベントや講座への参加数のそれぞれの目標値を年度ごとに合計したものである。
【委　員】
ロビーコンサートや展覧会の提案について、実施時間帯や期間など、詳細の考えは

あるか。

【団　体】

コンサートについては、効果的な時間として、日曜日の午後などを考えている。展覧会は、２週間から１ヶ月くらいの期間で実施し、待合室やカフェスペースで癒しにつなげればと考えている。なお、地域で活動している音楽団体や会館利用サークルなどと連携して実施したい。

【委　員】

収入向上策として提案されている「企画列車等の商品造成」について、事業収入の向上につなげる考え方を聞きたい。

【団　体】

例えばフルーツ列車の運行等を来館者の増加につなげ、利用料金収入を増加させたいと考えている。さらには、地域全体への来訪者の増加につながるものと考えている。

【委　員】

観光案内について、「地域ならでは魅力の提案」とあるが、具体的にはどういうものを考えているか。

【団　体】

地域の強みであるフルーツ狩り、酒、食などの豊富な地域資源をつなぎ、例えば「１日ぶらりツアー」のような周遊の提案を行いたい。

（３）各委員による採点

（４）事務局よる集計及び結果報告

（５）指定管理者候補者の決定

【委員長】審査の結果、得点が基準点を超えていることを確認し、申請団体を指定管理者候補者として選定したい。

【全委員】異議なし

３　閉会